

実り豊かな生活文化都市

# 中央市

議会だより

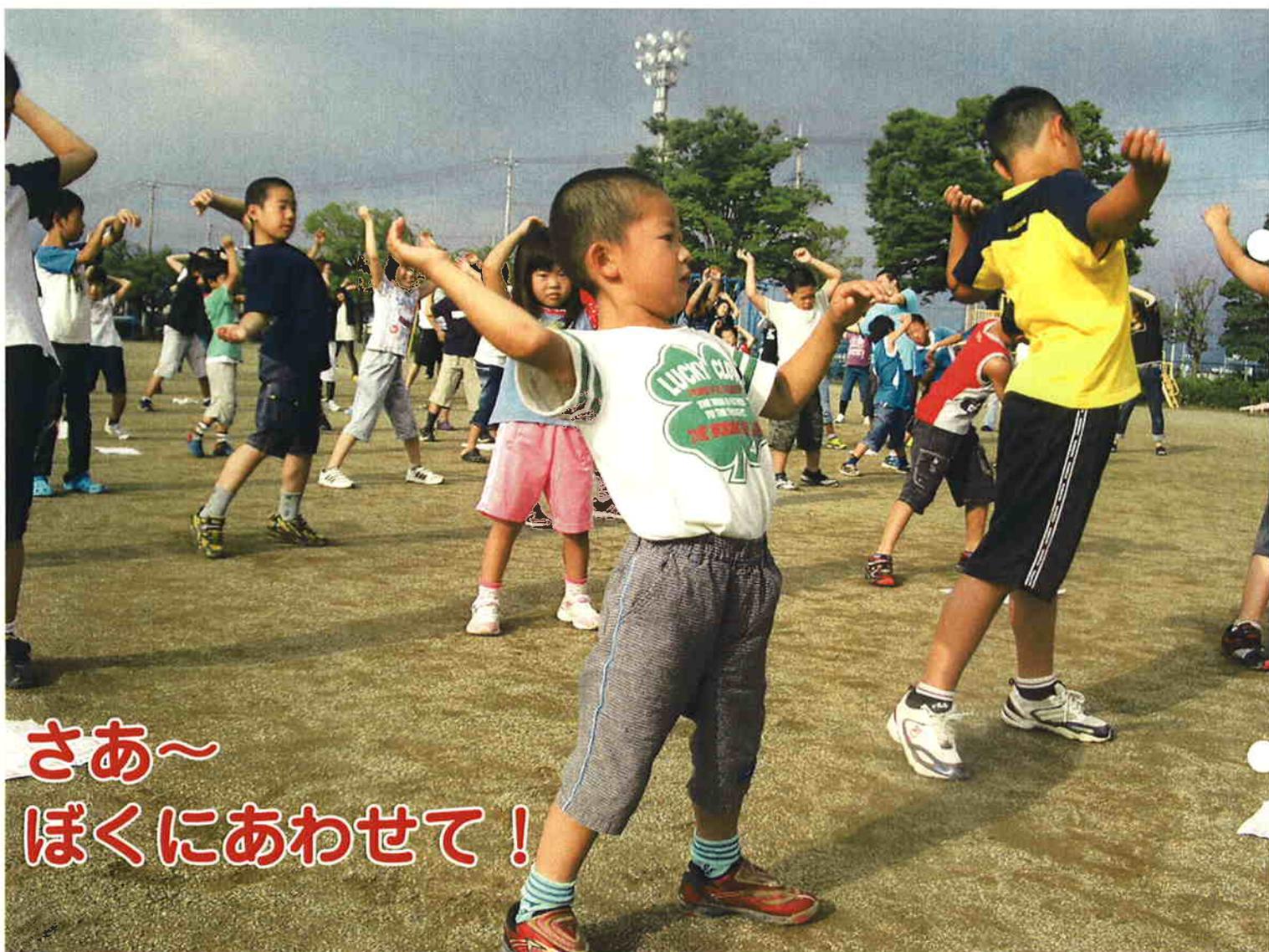
2010年9月1日発行

## 第18号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長 山本国臣

編集 議会広報編集委員会



さあ～  
ぼくにあわせて！

ラジオ体操教室(玉穂南小)

■6月定例会で決まったこと	2～3
■市長の行政報告	4
■一般質問に12議員	5～10
■第2回臨時会	11
■委員会レポート	12～13
■市民の談話室・編集後記	14



# 平成22年度 政策事業

## 条例の改正

### ■手数料条例中改正

山梨県の事務処理の特例に関する条例の一部改正に伴い改正されるもの。

### ■職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例中改正

職員の時間外勤務代休時間制度が新設され、職員団体のための職員の行為の制限の特例について改正を行うもの。

### ■職員の育児休業等に関する条例中改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、職員の育児休業等の改正を行うもの。

### ■職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正

育児休業、介護休業等育児及び家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

### ■国民健康保険条例中改正

医療保険制度の安定的運営を図るための国民健康保険法等の一部改正が施行され、所要の改正を行うもの。

## 専決処分

### ■中央市税条例中改正

地方税法等の一部を改正する法律が平成二十二年三月三十一日に公布され、市税条例の一部改正を行うもの。

### ■国民健康保険税条例中改正

地方税法等の一部を改正する法律が平成二十二年三月三十一日に公布され、市国民健康保険税条例の一部改正を行うもの。

### ■一般会計補正予算

(第7号)

・補正額

△三、九五八万円

・予算総額

一二四億四、八四〇万円

### ■後期高齢者医療特別会計補正予算

(第2号)

・補正額

二六九万円

・予算総額

一億七、五二九万円

### ■介護保険特別会計補正予算

(第4号)

・補正額

△三、七五七万円

・予算総額

一三億八、〇三八万円

### ■簡易水道事業特別会計補正予算

(第5号)

・補正額

六九万円

・予算総額

二億三、六三三万円

### ■土地区画整理事業特別会計補正予算

(第5号)

・補正額

△一七七万円

・予算総額

三億一五万円

### ■工業用地整備事業特別会計補正予算

(第2号)

・補正額

△八三〇万円

・予算総額

五億六、六九四万円

## 市道の変更

### ■道路線変更

鎌田川改修事業による変更、農道から市道への変更及び開発行為による変更に伴い、三路線の起点・終点の路線を変更するもの。

## 報告

### ■一般会計予算繰越明許費

子ども手当創設に伴うシステム対応事業、交通安全施設整備緊急対策事業など二事業、六億三〇五三万円を二十二年度に繰り越すもの。

### ■下水道事業特別会計予算繰越明許費

公共下水道事業二億二、二〇〇万円を二十二年度に繰り越すもの。

### ■土地区画整理事業特別会計予算繰越明許費

医大南部土地区画整理事業三、一〇六万円を二十二年度に繰り越すもの。

### ■一般会計予算事故繰越

低公害車両購入事業、浅利揚水場転落防止柵設置事業など四事業、五、一九七万円を二十二年度に繰り越すもの。

### ■一般会計予算継続費の繰越

議会情報公開事業(旧町村会議録等のPDF化事業)四七万円を二十二年度に繰り越すもの。

## 意見書

### 【議員提出】

### 女性特有のがん検診と妊婦検診の国庫負担の継続と子宮頸がん予防ワクチン接種の国庫補助制度の実施を求める意見書

妊婦健康診査と女性特有のがん検診に対する国庫補助制度は平成二十二年度までの期限措置であり、女性の健康管理と少子化対策推進のためには十分とは言いがたく、子供を産み育てることができる社会的支援と環境整備が整っていないとは言えません。したがって、妊婦健康検診、女性特有のがん検診に対する国庫補助制度を導入時の負担割合に引き上げ、平成二十三年以降も継続実施し、財政支援を講ずるよう求める。また抑制効果が七〇%以上と言われる予防ワクチンとして、「子宮頸がん予防ワクチン」については格差を超えた国庫補助制度の一日も早い実現を求める。

# 2期目に向け 市民参加型の市政実現と 特色あるまちづくりを進めます

## 6月定例会 田中市長の行政報告

### 1 市政運営の 基本姿勢

公平・公正を行政運営の柱に、市民参加型の市政実現と、施策の着実な実行を目指し、全力で市政運営に取り組みます。

### 2 中央市の まちづくり

市民との協働のまちづくりを推進し、積極的な施策展開と、中央市民の絆と結束を高め、未来に繋がる中央市にしていきたいと思います。

### 3 行財政の健全化

住民ニーズを的確に判断し、職員の能力向上・意識改革で、積極的な行

政運営を行い、歳出抑制や収収確保、さらに新庁舎建設も検討します。

### 4 暮らしやすい 生活基盤づくり

身近な道路環境の整備や、コミュニティバスの継続運行、公共下水道の効率的・効率的施設整備など、市民が快適に暮らせる市を創ります。

### 5 安全・安心な まちづくり

住民との連携による防災活動を推進し、住宅の耐震診断と改修・シェルター化の促進や、自然災害による不安感を取り除くことも目指します。

### 6 環境への 取り組み

環境基本計画の着実な実行、太陽光発電への補助事業の継続実施、二酸化炭素発生が少ないライフスタイルなど、快適で暮らしやすい市を創ります。

### 7 少子高齢化に対応 したまちづくり

ファミリーサポートセンターのさらなる充実と、母親同士・地域の高齢者との交流促進も進め、母親に不安のない子育て環境を確立し、誰もが安心して産み育てることのできる中央市を目指します。

### 8 福祉・医療 保健

山梨大学との連携を強化し、市民の健康管理と予防に努め、検診・保健指導や生活習慣病の予防で医療費を抑制し、安心感の高い市を創ります。

### 9 地域を担う 人材の育成

教育の基本を「まごころ」とし、信頼される学校教育の確立や、地域と学校と行政が連携し、生涯学習の充実と物から質への住民ニーズに応えていきます。

### 10 地域を支える 産業の育成

各地区の歴史や文化を生かし、特色ある農業と自然を生かした環境にやさしい市を創造します。企業誘致を強力に推進し、雇用機会の創出を図ります。

その他、6月の重油流出事故の経過・子ども手当への支給の状況・子宮頸がんワクチンの公費助成、小学校の太陽光発電整備事業等、7項目について市から報告がありました。

## 6月 定例会

# 一般質問

## 12議員が登壇

六月定例会では十二人の議員が一般質問に立ち、三四項目にわたって市の方針をただしました。この記事は質問・答弁を要約したものです。詳細は市ホームページの議会会議録をご覧ください。

## Q 農業振興とシルクの里振興公社は

ほか2件



大沼芳樹 議員

大沼議員 ①シルクの里振興公社などの指定管理者への委託期限後のあり方は。  
②耕作放棄地、傾斜地の有効利用への取り組みは。  
③中央市農業者会議への

対応と認定農業者への経営指導は。

④道の駅とよみに出荷された農産物の売れ残りを生産者が引き取らずに済む工夫を。  
⑤道の駅とよみは冬場に農産物が少なく、田富のたからは夏場が減少するその対策は。

## Q 三大祭を二つにし福祉に支援を

ほか1件



田中健夫 議員

田中議員 不況の影響で、市内の有力企業の撤退、倒産、移転が続いた。失職するなど市民生活への影響も大きい。厳しい状況下、市民が健康と安全を守り生活していく気力

を支えるため、福祉の後退はなんとか避けたい。中央市の三大祭りを年二回に集約し、一回分の費用を、市民の生活支援、福祉の財源として振り向けることができなにか。

## A 指定管理者制度を継続

市長 ①二期目として、平成二十三年四月以降も指定管理者制度を継続する予定。選定方法は現在検討している。

②二十年度に「耕作放棄地再生活用五カ年計画」を策定、二十一年度に約一％を解消。今後、補助制度の活用、企業参入の推進、担い手の育成、傾斜地の多い豊富地区での施策強化等を通じ、農地の有効活用を努める。

## A 統一も視野に入れ検討

市長 合併後、旧町村の祭りを引き継ぎ、春はれんげまつり、夏は与一公まつり、秋は稲穂まつりとして、旬の特産品をPRするなど工夫し開催してきた。今後は、祭りの統一も視野に入れ、地域性を生かした、実り豊かな生活文化都市にふさわしいものになるよう検討し、財政面の負担も軽減できるように考えていく。

## Q 口蹄疫市の対応は

③中央市農業者会議は、次代を担う若い農業者を中心とし、先進的な事業に取り組んでいる。認定農業者は三年目と五年目に経営状況を精査し、認定後の個別経営指導に当たっている。

④引き取りについては漬物業者と協議し、搬入委員会にも諮る中で検討していく。  
⑤季節ごとの農産物の品薄解消のために、農産物直売所の連絡協議会設立に努力したい。

## Q 口蹄疫市の対応は

問 宮崎県の口蹄疫被害は過去最悪の事態。本市の畜産農家でも消毒の経費負担が増している。助成措置を。

市長 県の消毒用消石灰の八週間分配付措置に続き、市も六月十八日に八週間分を無料で配付する。

## A 消毒に助成実施

## Q 子ども手当支給について

問 子ども手当支給で、給食費滞納解消のため、口座の共通化を保護者に要請したが、経過は。

教育長 問い合わせが約五〇件。悪質な保護者の意識改革、滞納防止の一助となると認識している。

## A 給食費滞納解消に努める

## Q 危険個所の改善を急げ

問 ①線路上への置石や自転車の放置などが問題となっている。危険個所は団地にも近く、住民の不安は大きい。JR身延線への侵入防止対策を。

②清川西沿いを東花輪川まで南進する市道五七三―一号线は、第三保育園への通園路にもなっている。二四〇メートルの区間に柵がない。市民、園児の安全のため、転落防止柵の設置を。

## A 早期対応に努める

市長 ①十月、議員からの連絡を受け、総務課職員が現地確認し、JR東海に現状を伝え、侵入防止用ロープの外れた個所の補修を申し入れた。予算の関係で即時の対応はできないとの回答だったが、引き続き、フェンスの設置を含め、早急に対処するように要請していく。

②市道五七三―一号线は幅員三メートルと狭い。市民の安全確保のため、

転落防止柵を早期に設置するよう検討する。



転落の危険のある清川沿い市道

# Q 簡易水道事業の状況は

ほか4件



福田清美 議員

把握の現状は。  
③石綿管の布設替えの実績と今後の方策は。

## A 耐震化に努める

福田議員 ①災害時のライフライン確保は重要。水道管の耐震化事業と今後の計画は。  
②主要配管と宅内配管など、災害時や漏水に対応するための台帳整備、管路図

②各課が連携できる管理システム構築を検討中。  
③合計三、四七三メートルを布設替えした。残りの約三、五〇〇メートルも早期に完了したい。

## Q 農業集落排水事業の状況は

問 管路図、台帳整備の現状と耐震計画は。

## A マンホールの耐震化を検討

市長 総延長三七kmの内、管路図面は計画図しかない。台帳整備は急務で、建設

部で協議検討中。マンホール浮上防止等の耐震化を検討している。

## Q 土砂災害指定区域の対策は

問 豊富地区の三四カ所が土砂災害の特別警戒地域に指定されているが。特に、生活道路や幹線道路沿いに面している急傾斜地域については、早急に防止策を講じるべきだが（新作興から浅利地区入口県道沿い、市道豊富一〇八号線角川地域新道高部地区方面など）

## A 県にも防災工事を要請

市長 防災訓練、防災パトロールを継続し、急傾斜地の崩壊防止工事を県に要請する。

## Q 生ごみ堆肥化の推進と活用は

問 二十一年度、生ごみ堆肥化で二〇キロ袋を三、一六二袋生産完了した。新たな収集と対応は。

## A 補助制度を導入

市長 現状では三、五〇

○袋前後が限界。家庭用コンポストの購入補助制度で、生ごみの再資源化を推進している。

## Q バイオマスエネルギーの活用は

問 市内の学校などで廃食用油の回収を実施しているが、一般家庭での回収体制の構築を。

## A 家庭からの廃食用油の回収も検討

市長 先進事例を参考に、実施に向けて方策を検討している。

# Q 防災計画の見直しは

ほか2件



小池満男 議員

最近、市の防災マップが配付された。五年前に策定された防災計画と比べ、見直された点は。

## A 県の計画との整合性に留意

小池議員 日本列島を取り巻く東海・東南海・南海・首都直下型地震これらをあわせて四大地震といわれている。総合地震対策の必要を、国に強く要望すべきだが、いかがか。

計画の変更や施策の必要性に応じて修正・見直しを図っていく。

## Q 災害発生時の民間企業との協力協定は

問 災害発生時に緊急に必要な食料品等の確保について、民間企業との協力協定は。

- ①災害発生時に必要な食料品は。
- ②医療品等は。
- ③救助器具等所有者は。
- ④運送業者は。
- ⑤危険物販売業者は。
- ⑥危険薬品貯蔵の企業、

## A 避難場所確保の協定を検討

市長 建設協力会と応急業務の実施協定、県内五社の大型量販店と生活必需品の調達協定、県トラック協会および赤帽山梨と緊急輸送の協定、アクティオおよび甲陽建機リースの二社と仮設資機材の供給協定、自然体験クラブ・エヴォルヴと水防救難用品の貸与協定を締結している。大型ショッピングセンターとの避難

## Q 一級河川改修、国・県への要望と状況は

問 ①宇坪川の改修、排水対策は。  
②清川の未改修部分の対策は。  
③東花輪川の冠水対策は。

## A 調整池の設置を検討

市長 ①地籍調査の結果を踏まえ、県に改修工事を要望する。  
②二十一年度に現地調査

と実施計画が終了、二十二年度から施工に着手。三年計画となっているが、未改修部分七〇〇メートルの早期完成を要望する。  
③常永土地区画整理事業の環境影響評価の準備段階で、調整池三カ所設置等の排水計画を協議している。

## Q 医療・介護の今後は



一瀬 明 議員

れる資格証明書に問題はないか。無保険状態の人数は。

一瀬議員 ①二十二年度に国保税が改正され市民の負担が増した。景気低迷の影響もあり、滞納世帯は九二六世帯に上っている。短期保険証の増加、全額窓口支払いが求めら

二歳までの子どもに医療費が助成されている。中学生まで対象の拡大を。⑤地域包括支援センターへの相談状況は。

電話調査を実施しても、実状が把握できない世帯が、五月末で二九七世帯、四一二名いる。②二十一年度のがん検診受診率は六九・七％で、前年度に比べ三・六ポイント向上した。今後も受診率の向上に努める。

の医療費助成事業が全体の医療費軽減にどう影響したのかを検証し、財政状況も考慮して、さらに対象年齢の拡大が可能か検討する。

地域包括支援センター・居宅サービス事業者・家庭が情報共有して、地域ケア体制の支援を図っている。昨年、県立大学看護学部とも共同で、在宅認知症高齢者支援について調査研究を行っている。

## A 国保税未納者は相談を

市長

①個別折衝で合意できた世帯には短期保険証の発行で対応しているが、合意を履行しない場合は資格証明書での受診もやむを得ない。戸別訪問、

③国保会計の決算状況や医療費の推移を勘案し、運営協議会の審議を尊重し判断したい。④二十一年四月から公費助成を小六まで拡大、給付額は前年の一・六六倍になっている。子どもへ

⑤二十一年度、総合相談件数は九九四件、介護相談が八一％、五〇歳から六〇歳の相談者が五一％で最多。訪問件数は四八一件、新規調査、介護サービスが六四％、認知・虐待・権利擁護・福祉など困難ケースが二二％。⑥中央市連携ノートを考案し、山梨大学医学部・

## Q 農産物直売所の交流促進を



関 敦 隆 議員

ほか1件

関議員 ①市の農産物直売所間の交流が少ない。今後の方針は。②集客、品揃えなどの消費者ニーズにこたえるため、連携を進めるべきではないか。

まされる。今後の方針は。A 連携、体力強化は急務 市長 ①②玉穂地区のすみれ会の直売所を含め、市内三つの農産物直売所は旧町村の支援および国・県の補助金を活用し設立した経緯があり、旧町村を越えた積極的な交流はなかった。今後は各施設

の丘農産物直売所の増築計画などがあり、市内直売所の体力強化は急務。直売所の連携、地域特性を活かした販売戦略の構築に努める。④シルクの里振興公社の事業区域は市全体だが、現状、豊富地区以外の農家との関連性は薄い。今後は、農業アドバイザーをはじめ、かわり合いを深めていく。⑤特産物の普及と、加工研究等の経費助成を今年度から実施する。⑥堆肥販売は好調で、生

産者が出荷を待っている。継続的に供給できる体制整備を図っていく。Q 授業についていけない子供達の対策はないか 問 教育委員会は授業についていけない子どもの実態を把握しているのか。現場ではどのような対策を講じているのか。A 授業力の向上に努めている 教育長 独自調査はしていないが、学習状況調査の分析や、学校からの報

告等を通じて、概要を把握している。現場の教師はきめ細やかな授業、習熟度学習など日常的に取り組んでいる。教育委員会としても、一三人の市単教員、四人の通訳、三人のALT、三人の心の教室相談員等を配置し努力している。

# Q 上・下水道料金の統一は



伊藤 公夫 議員

ほか3件

伊藤議員 上・下水道料金は全市で統一されるべきだ。水道料金改定の条例改正案の提出予定時期は、料金徴収も二カ月に統一し経費削減を。

## A 現状では難しい

市長 田富地区と豊富地区では給水原価が異なり、玉穂地区は甲府市水道局のエリア等で、料金の統一は難しい。料金の改定は、時期と徴収方法も含め、各事業別に現在検討している。

# Q 道路占用料徴収は

問 市道には民間企業の施設物件が地下埋設されている。公平な占用料徴収のための調査の進捗は。

## A 早期に実施の予定

市長 NTT、東京電力、東京ガスの埋設物調査が終了。台帳整備を進め、占用料徴収が早期に実施できるよう努める。

# Q よし原処理センターは

問 リバーサイド住民からは、下水道料金が徴収されていない。公正とは思えないが市の見解は。

## A 審議会で検討中

市長 富士観光開発など三企業による負担金は、汚水処理費に充当し、住民の使用料を企業が負担していると解釈している。審議会で管渠移管を主題とする中、使用料徴収に

# Q 市道田富西通り線の整備は

問 ①未整備区間三七〇メートルの進捗状況と完成の見通しは。

## A 二十六年に完了の予定

市長 ①用地買収、建物補償等の事業実施に向け説明会を実施した。二十六年までの完成を予定しているが、事情が許す

一方通行の早期解消が望まれる西通り線



# Q GCHで高齢者に幸せを



名執義 高 議員

ほか2件

名執義議員 経済産業省は買い物に困る高齢者の数を六〇〇万人と推計し、社会的課題と位置づけた。①コミュニティバス実証運行の状況は。②地域公共交通活性化協

議会の検討状況は。

③官に頼らない「新公共」NPOバス、高齢者の生活支援「見守り」の検討を。④中央市の幸福度を高めるGCH(グロス・チュウオウ・ハッピーネス)中央市民総幸福度調査を実施し、政策に反映する考えは。

# A 幸福度を高める政策を進める

市長 ①平成二十一年度のコミュニティバス運行日数は一六八日で、利用者数四、三一三人、一日当たりの利用者は二五・七人。二十二年度は一日当たり二四・四人となっている。

ついても検討している。

# Q 生涯現役、生涯学習の必要性は

問 ファーストシルク織りなど、地域の特色を生かした生涯現役、生涯学習の必要性がある。

①伝統文化や技術の伝承は。②生涯学習の状況は。③高齢者の知恵や技術を伝える機会の創出を。

# A 高齢者の知恵を行政にも反映

教育長 ①粘土節保存会では、地域イベントで地域社会への貢献をしている。陶芸や花き・園芸など、人材の登用も進めている。②文化協会・体育協会・まごころ学園などが、生きがいづくりにつながっている。③高齢者の知恵・技術を伝える機会は、行政でも不可欠で、社会福祉協議会とも相談し、協議・検討していきたい。



はたおり体験教室(シルクふれんどりい)

## Q 財政運営の健全化、行財政改革大綱の整合性は

ほか2件



井口 貢 議員

井口議員 市の将来像である「実り豊かな生活文化都市」実現には、行財政改革は必須だ。

①財政改革健全化の事務事業仕分けは重要だが、市の改革大綱に明記がない。

井口 貢 議員

どのような計画か。

②改革大綱に外部評価員制度がない理由は。

③実質公債費比率は財政運営上、もっとも重要な指標だ。上位計画の総合計画に違反しないか。

## A 外部評価委員制度を導入する

市長 ①事業実施のチェック体制に、行政評価制度を導入し、外部評価制度の導入も検討する。「事業仕分け」とは行政評価の一つの手法であるため、明記されていない。

②評価の一環として外部評価委員制度を導入したい。

③総合計画では、平成二十四年時点の目標値と、各年度統一の上限值、目標の設定基準が違う。

## Q 行財政改革大綱と実施計画の整合性は

問 ①職員の意識改革・高揚をどう評価するか。

②重点的な公共投資を行う仕組みの確立は。

③実施計画に行政評価制度の明記がない理由は。

みを構築する。

③行政評価の一つである「事務事業評価方式」を導入している。

## Q 改革大綱の計画状況は

問 ①建設コスト削減の実施内容・成果・計画は。

②人事評価制度庁内検討委員会の実施計画は。

③事務決裁規程の具体的内容、臨時職員削減計画の実施内容、補助金の削減目標、公有財産の有効利用は。

## A さらなる経費節減に取り組み

市長 ①土木工事調整会議で協議し、同時施工などでコスト削減。

②二十三年度にスムーズな試行・導入・活用を進めている。

③規程は運用マニュアルを策定、庁舎内の臨時職員は削減を行い、保育士、調理員は指定管理者、民間委託等の検討を進める。補助金は交付団体にご理解いただき削減。公有財産台帳は二年間で整備する計画。

## Q 介護支援ボランティア制度導入を

ほか3件



野中つね子 議員

野中議員 市町村の裁量で、介護支援ボランティア活動参加者の、介護保険料負担軽減が可能な事業が始まっている。市でも安心を確保し、希望を感じていただくこの制度導入

の早期検討を望む。

## A 先進事例を参考に進める

市長 先進事例等参考に検討、平成二十三年度は第五期高齢者保健計画介護保険事業計画の策定に入るので、市の特性を生かした取り組みを進め

ていきたい。

## Q 口蹄疫から畜産業を守る

問 ①市の畜産業を守る取り組みは。

②県との連携を含め、危機管理体制は。

③飼料やわらの生産、飼料米の方向性は。

## A 畜産農家の感染予防が第一

市長 ①畜産農家の感染予防、経営の軽減や消石灰の無料配布を決定して

問 生涯教育で図書館が果たす役割は大きい。今のままでは危険。駐車場の早期実現を提案したい。

## Q 田富図書館に駐車場を早く

問 生涯教育で図書館が果たす役割は大きい。今のままでは危険。駐車場の早期実現を提案したい。

## A 年度内完成を目指す

教育長 正式な事業認定

## Q クーポン券の活用で市の活性化を

問 市の活性化につながるクーポン券の発行を。

## A 市内事業者の意思統一を図る

市長 市内事業者の意思統一を図り、多くの事業者の参加と機運が高まった場合、検討していく。



高齡介護課に併設された包括支援センター

# Q 県施行の 鎌田川改修工事は

ほか1件



保坂 武 議員

## A 二十五年度当初 に稼働開始予定

保坂議員 県施工の鎌田川改修工事のうち、清川排水の大田和下流の湛水防除の使用時期は。また、工事進捗状況を市が把握している範囲は。

市長 県土整備部で施工する鎌田川改修事業と、県農務部で施工する湛水防除事業の二つの事業関連で調整され、施工されている。鎌田川護岸工事は、笛吹川合流点から今川橋上流二〇〇メートル、J

R鉄橋と今川橋の間で完成している。引き続き護岸工事、JR樋門部盛土工事などで二十四年度中の完成を目指している。

湛水防除事業の進捗状況は、二十一年度までに管理棟、電気設備、排水ポンプが完成しており、今後の日程は二十四年度末の完成、二十五年度当初に稼働開始の予定。

## Q 消防学校整備計画に伴う市道整備は

問 県では、市内にある消防学校を整備する方針

がある。その概要と、周辺市道・西通り線を含む整備計画を伺う。

## A 学校と整合性を とり整備を進める

市長 昭和五十年に新築移転された消防学校は、耐震性が低く、施設・設備の老朽化が進み、二十七年まで現在地での新築整備を計画している。県では周辺用地取得と合わせ、四万平方メートル程度を考えており、整備方針に関する説明会も開催された。二十二年に基

本設計、二十四年に用地取得、二十五～二十六年に建設工事で、二十七年四月開校の予定。

現時点で学校整備計画に伴う周辺市道の整備は計画されていないが、広域的な南北軸路線である田富西通り線の延伸は、都市計画マスタープランで、仮称・田富南北道路の構想路線に位置付けられ、消防学校整備計画と整合性の取れた市道整備を進めていく予定だ。



県消防訓練大会(7月18日)

# Q 子宮頸がん予防ワクチン 接種助成拡大を

ほか3件



設楽 愛子 議員

## A 小六・中三生に 接種公費負担

設楽議員 子宮頸がん予防ワクチンは、現在唯一がんを予防できるワクチンだ。任意予防接種だが、接種費用の公費助成が全国的に求められており。市でもワクチン接種費用

の公費助成拡大を望む。

市長 厳しい財政状況だが、小学六年・中学三年生を対象に、県の助成限度額一万五千円を加えた四万五千円の助成を行うこととした。

## Q うつ病、児童虐待対策 に「専用相談窓口」を

問 厚労省調査では、うつ病・躁うつ病など気分障がい患者が二百五十万人と推測されている。児童虐待やDVなど含め、

受診体制などの情報が不足しており、早急な対策が必要だ。市の対応を伺う。

## A 早期発見・指導・ 情報提供を進める

市長 健康チェック・心のセルフチェックと心の健康相談など実施し、う

つ病の早期発見に努める。児童虐待・DVなど、子どもや家庭の問題などに、家庭児童相談室を子育て支援課に設置し、助言指導や情報提供を行っている。

## Q 小規模工事契約 希望者登録制度を

問 市内業者の受注拡大・市経済の活性化のため、市内に住所・事業所を有する人が、直接申請でき

る登録制度の導入を望む。

## A 制度化は困難、 受注機会増やす

市長 一般公募で不特定多数の者を募り、制度化することは困難だが、受注機会の拡大は進める。

## Q 専門医による 乳幼児健診は

問 股関節脱臼が一歳四カ月で分かった事例もある。小児科医と整形専門医の検診と合わせ、市の乳幼児健診状況と考えを伺う。

## A 医師会と協議し 対応する

市長 母子保健計画に沿って着実に推進する。股関節脱臼診断は難しいため、中巨摩医師会と協議し対応を検討したい。



【5】子育て支援課

相談受付窓口(玉穂庁舎)

# 第2回臨時会

平成二十二年中央市議会第二回臨時会が、五月七日に開催されました。  
 中央市職員給与条例の改正など条例案件二件と人事案件三件が提案され、審議の結果、原案どおり可決しました。  
 また、任期満了に伴う中央市選挙管理委員会委員および補充員の選挙が行われ、新たな委員と補充員が当選しました。

## 条例の改正

## 同意

■特別職の職員で常勤のもの  
 の給与及び旅費に関する  
 条例中改正

■教育委員会委員の任命

- 森泉 武紀  
住所 中央市上三條
- 比志 保  
住所 中央市布施

■監査委員の選任

- 長田 温雄  
住所 中央市木原
- 乙黒 環  
住所 中央市成島

■職員給与条例中改正

・地方公務員法の規定に基づき、職員の給与の支払いについて所要の改正を行うため。

■公平委員会委員の選任

- 樋口 要  
住所 中央市布施
- 田中 秀信  
住所 中央市下三條
- 小沢 究  
住所 中央市浅利

■選挙管理委員会委員・補充員の選挙

- 塩島 武雄  
住所 中央市今福新田
- 松村 昭彦  
住所 中央市極楽寺
- 石川 光造  
住所 中央市布施
- 有泉 嘉彦  
住所 中央市大鳥居

▼補充員

- 保坂 洋  
住所 中央市西花輪
- 山本 早苗  
住所 中央市成島
- 有泉 善博  
住所 中央市浅利
- 庄司晋太郎  
住所 中央市臼井阿原

## ●議会の動き●

### 4月

- 5日 市内保育園入園式
- 6日 市内小中学校入学式
- 8日 粘土節保存会総会
- 14日 県市議会議長会定期総会
- 15日 議会広報編集委員会
- 22日 議員協議会
- 23日 市民バス納車式
- 27日 市町村長・市町村議会議長会議員  
 関東議長会定期総会
- 30日 議会運営委員会

### 5月

- 6日 議会広報編集委員会
- 7日 議員協議会
- 7日 第2回臨時会
- 9日 中央市障害者福祉会定期総会
- 12日 中央市文化協会総会
- 13日 議会運営委員会
- 13日 会派代表者会
- 14日 シルバー人材センター通常総会
- 20日 社協正副会長会議
- 20日 中北・峡南地区市町議会議長会
- 22日 たから農産物直売所4周年記念収穫祭
- 25日 商工会総代会
- 26日 全国議長会定期総会
- 27日 社協理事會
- 28日 流通センター通常総会
- 31日 峡中地区都江堰市友好協議会総会

### 6月

- 1日 都市計画審議会
- 1日 公共下水道審議会
- 4日 田富よし原処理センター特別審議会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 会派代表者会
- 15日 第2回定例会開催
- 23日 高速道路整備促進期成同盟会総会
- 25日 第2回定例会閉会
- 28日 生活福祉資金調査委員会
- 29日 与一公まつり実行委員会

## 9月議会予定

9月議会は、つぎのとおりの子定となります。お気軽に、傍聴においでください。

▼開会

9月7日(火) 午前10時

▼一般質問

- 9日(木) 午前10時
- 10日(金) 午前10時

▼総務教育常任委員会

- 13日(月) 午前9時30分
- 14日(火) 午前9時30分

▼厚生常任委員会

- 15日(水) 午前9時30分
- 16日(木) 午前9時30分

▼産業土木常任委員会

- 17日(金) 午前9時30分
- 21日(火) 午前9時30分

▼閉会

24日(金) 午前10時

※日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されますので、変更される場合がありますのでご了承ください。

# 常任委員会レポート

## 総務教育常任委員会

### 職員団体のための職員

の行為の制限の特例に

関する条例中改正

#### 〈総務課〉

**問** 時間外勤務の多い職員に、管理職はどう指導しているか。

**答** 業務を分担し軽減するように指導。

**問** 選挙時の時間外勤務は、どのような対応か。

**答** 身体的負担は交代で休むよう指導。時間外手当は適正に支給する。

**職員の子育て休業等に関する条例中改正**

**問** 職員が夫婦の場合、休暇期間の最長は。

**答** 後刻報告(最長三年)。

**職員勤務時間、休暇等に関する条例中改正**

▼一般会計補正予算

(第1号)

**問** カーブミラー設置要望は、翌年度以降になることもあるか。

**答** 基本的に当該年度に処理。申請件数が多いと、次年度のこともある。

**問** 四月人事異動に伴う人件費の補正は。

**答** 組み替えて計上。

**問** 人事評価制度のマニュアル作成の留意事項は。独自性は。

**答** 職員全員が納得すること。評価に温情的な私見が入らないこと。全国的に比較できる内容を入れるなどを踏まえ、中央市独自のマニュアルを作成。制度導入に向け、中間管理職(評価する人)の研修を行なう。

**政策秘書課**

**問** 市町村合併推進体制整備費補助金(基盤整備分)の補助率は。

**答** 規定はない。

**問** 市町村合併推進体制整備費補助金(その他分)の事業内容は。

**答** 財産管理及びコンビニ

二収納システムに関するもの。

**問** システム構築はどこ

の部署で行うか。

**答** 総務課で行うが、担当課の意見を取り入れ進める。

#### 〈管財課〉

**問** 公用車購入業者の対象を広くできないか。

**答** 指名参加願の提出があった業者から選定。

**問** 入れ替え対象車の使用年数は。

**答** 田富庁舎一トダンブ

二二年、玉穂庁舎キャ

バンが二二年経過。

**問** 公用車の入れ替え(購入)計画は。

**答** 管財課で作成済み。計画書に基づき進める。

#### 〈教育総務課〉

**問** 田富北小プレハブ倉庫設置工事の施工場所は。

**答** 将来の敷地利用を考慮、同じ場所に建てる。

**問** 田富中学校武道館工

事に伴うトラブル対策は。

**答** 事前に調査し、トラブル回避に努める。防音サツ

シを使用するなど、完成後のトラブルにも注意する。

#### 〈生涯教育課〉

**問** 文化財費の補正の内容は。国、県指定文化財

の補修を行うには。

**答** 内容は八幡穂見神社の説明板の設置。補修は所有者の意向を優先し、補助制度を活用。

**問** 図書館駐車場予定地の規模・位置選定の経緯

は。

**答** 周辺道路の違法駐車解消、福祉公園など近隣施設の諸行事など総合的に検討。

**問** 図書館駐車場整備規模にかかる要望等の内容は。

**答** 施設利用者の要望があり、当該整備規模が必要で、予定地を選定した。

**問** 借地による整備は可能か。

**答** 農振除外、国庫補助金活用から借地での整備は不可。

**問** 浅利テニスコートは住宅地にあるが、トラブルはないか。

**答** 駐車スペースが狭くトラブルが多い。乗り合わせを指導。

#### 〈総括質疑〉

#### 〈教育委員会〉

**問** 駐車場は福祉公園北側が妥当かどうか。

**答** 他施設も考慮するが、あくまでも図書館をメインに考えている。

#### 〈討論〉

**反対** 図書館駐車場整備の必要性は認めるが、位置・規模は再考する必要があるので反対。

**賛成** 図書館事業日本一評価の本市は、図書館事業を充実する必要がある。農振除外関係も、教育事業を優先する必要がある。図書館駐車場整備について賛成する。

#### 〈採決〉

起立採決

賛成3、反対3

※可否同数のため、委員会条例規定で委員長表決により可決。



中学校武道が必修科目となります

## 厚生常任委員会

### ▼国民健康保険条例改正

#### ▼一般会計補正予算

(第1号)

### 〈高齢介護課〉

**問** 一人暮らし高齢者の人数は。

**答** 六五歳以上七一一三人、うち七五歳以上三八七人。

### 〈子育て支援課〉

**問** 子育てガイドブックから市のホームページと携帯サイトへのアクセスを可能とするとは。

**答** 市ホームページに携帯サイトからアクセスできる。



救急医療情報キット

### 〈健康推進課〉

**問** 保健事業費の償還金、利子及び割引料の二〇九万円の内容は。

**答** 総合健診事業の国への返還金。

**問** HPVワクチン接種は、保護者・対象者に十分な配慮を。

**答** 医師会と調整し対応していく。

### ▼国民健康保険特別会計

#### 補正予算 (第1号)

#### ▼老人保健特別会計補正予算 (第1号)

#### ▼介護保険特別会計補正予算 (第1号)

#### 〈継続審査〉

#### ▼平成二十一年度請願第四号

所得税法第五六条の廃止を求める請願書

**問** 近隣自治体の状況は。

**答** 荏崎市においては、継続審査中。

## 産業土木常任委員会

### ▼手数料条例中改正

#### 〈建設課〉

**問** 市内に対象となる岩石・砂利の採取許可申請場所は。

**答** 該当箇所はない。改正は県からの権限委譲に

よるもの。

**問** 権限委譲は、希望した自治体におこなったとの説明だが。

**答** 平成二十二年度の委譲は、希望した本市と市川三郷町。

### ▼一般会計補正予算 (第1号)

#### 〈都市計画課〉

**問** JR東花輪駅前整備事業・一般整理場用地の交渉状況は。

**答** 昨年からの交渉中、買収の方向で努力。地権者は借地を希望のため、借地による整備も視野。

**問** 立体駐輪場の収容台数は。

**答** 歩道整備で敷地面積が減少、立体だと現状の140台分を確保。

#### 〈建設課〉

**問** 取壊し予定の市営飛石住宅3棟の位置は。

**答** 南側2棟、北側1棟。

**問** 田富西通り線用地買収単価の算出方法は。図書館駐車場用地買収単価との関係は。

**答** 土地鑑定評価に基づき用地交渉。用途地域が違い図書館駐車場用地買収単価は考慮なし。

**問** 田富西通り線完成と浅原橋架替え工事の関連は。

**答** 田富西通り線は二十六年完成予定。浅原橋架替えは現在地北側を予定、同時完成は不明。

### ▼簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号)

#### ▼下水道事業特別会計補正予算 (第1号)

#### ▼農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)

#### ▼土地区画整理事業特別会計補正予算 (第1号)

#### 〈都市計画課〉

**問** 事業は今年度で登記まで終了するか。

**答** 今年度で終了。

**問** 建物移転補償地の今後は。

**答** 当該地は換地後の所有者が決まっている。

**問** 建物移転後の工事予定は。

**答** 境界壁、水路工事があり、繰越予算で対応。

### ▼上水道事業会計補正予算 (第1号)

#### 〈水道課〉

**問** 田富地区に石綿管使用の配水管があるか。

**答** 田富地区に石綿管使用の配水管がある。

### 老朽化により取壊し予定の市営住宅



も料金に反映するべきでは。

**答** 反映する。

**問** 下水道事業等の使用料見直しは。

**答** 審議会で検討中。農業集落排水は今年度中に答申予定。公共下水道並みの使用料見込み。よし原は使用料を徴収し、金額も公共下水道に合わせる方向で検討中。

**問** 公共下水道の事業完了はいつか。

**答** 平成三十七年度完了予定だが、今の事業量(工事費)では平成四十二年度になる。

#### 〈農政観光部〉

**問** 市の三大祭りの方向性は。

**答** 統一で検討する。

**問** 一祭りの場合、廃止になる祭りの対応は。

**答** それらも含め、実行委員会が検討する。

**問** 近隣市町に農産物直売所開設が増えた場合、市内の直売所に影響するが、相互交流などの対策は。

**答** 施設間の交流を含め、積極的にイベント企画し、アピールする。

**問** 将来的な維持管理費

# 市民の談話室



## イツツ・ア・スモールワールド

成島 杉村 邦子



イギリスに住み始めて一年経ったころでした。人通りの少ないバス停で友人と二人、別の三人の友達を待っていました。すると見知らぬ日本

女性があいさつをしながら通り過ぎていきましました。その後も、遅刻している友達を待ち続けていたところ、先ほど通り過ぎていった女性が戻ってきました。今度は立ち止まり、私たちに話しかけてきました。

女性「日本はどこから?」  
友人「私は沖縄から来ました」  
私「私は山梨ですよ」

女性「あら、私はお隣の長野です。今はドイツに住んでいます。そう言えば、山梨の中巨摩と言うところに親戚がいます。確かK:」  
私「えー、もしかして:」

京都大学時代にドイツ人教授と知り合い結婚し、ドイツに渡った叔母の記憶がよみがえりました。まさか、と思いながら聞いてみると、まさに叔母でした。

私が最後に会ったのは祖母の葬儀の時、当時たった二歳だった私が、叔母の顔を覚えてはいるはずがありません。

観光地でもない街で、あんな出会いがあるなんて。イツツ・ア・スモールワールド、この言葉を耳にするたび、うなずいてしまう私です。

## 農業体験教室を通して!

一町畑 田中 明雄



私が勤める職場では、三年ほど前から中央市の農業法人と連携して、農業体験教室を行っています。農業を自ら体験すること

とで、毎日食べる野菜が手元に届くまでの一連の作業を学ぶ良い機会となっています。この体験を通して、消費者、販売者、生産者という側面から農業を考えることができ、野菜を育てていくことの難しさ、天候に左右されること、さらに野生動物による被害など、生産現場の現状を肌で感じることもができるようになりました。

収穫した野菜は、参加した人たちで分けあって持ち帰ります。みんなで丹精込めて作った野菜は、大変おいしくいただくことができます。

この農業体験教室は任意参加ですが、毎週多数の職員が参加しており、仕事以外でのコミュニケーションの場にもなっています。中央市には、多くの自然が残り、田畑の風景もまだ残っています。こうした豊かな風景を未来につなげてほしいと思います。

また、未利用農産物(コーン残渣、剪定枝、籾殻など)によるバイオマスの研究も進め、農作物と資源の両面から、農業を支える事業を検討してほしいと思います。

## 編集後記

今年も梅雨入りした六月中旬に、昨年より一週間ほど遅くホタルが飛び始めました。気候変動の影響でしょうか、いつもなら辺り一面モロコシ畑が、見る間に青々とした水田に変わる時期だったので、やはり農作物においても作付けが、遅れていた感じがいたしました。

豊富地区における「ゲンジ螢」の自然発生源は、以前に比べ数多くなり、これも河川の水質が良くなったおかげでしょうか。ホタルの棲む自然を守り、ホタルが舞う優雅な光景や、自然の命の営みを通して、次世代の子どもたちに、大切なものを残していきたい、そう願うばかりです。

「快適で、環境に配慮した社会の実現」を協働でめざし、自然環境保全にこれからも取り組んでいきたいと、意を強くしました。限られた紙面の中で、分かりやすく読みやすい「議会だより」を目指しますので、皆様方のご意見をお寄せください。

### 議会広報編集委員会

「福田 清美」

委員長 田中 一臣

副委員長 一瀬 明

委員 名執 義高 小池 満男

野中つね子 福田 清美